

あきた農地・水・環境保全研修会事例発表組織位置図



あきた農地・水・環境保全研修会 発表内容のポイント

事例番号	発表組織等	取組状況	取組のポイント	結果・効果
1	<p>大曲ほたるの会 代表 成田 和保</p>  <p>【ワークショップ作業状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八郎湖上流部にある組織で排水が八郎湖へ流入している。 ・三種町7組織でなる鶴川地区協議会を設立し、一体となって排水対策に取り組む。 ・協議会で県立大学へ水質調査を委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの開催 ・県立大学への水質調査を委託 ・ホタルの生息 	<p>土地改良区で主体となって開催するワークショップを開催し、地域住民による実際の代掻き水の排水状況確認や生態系調査を行ったところ、みんなの声でホタルの棲める環境づくりに取り組むこととした。</p> <p>三種町7組織でなる鶴川地区協議会を設立し、一体となって排水対策に取り組み、地元の県立大学に水質調査を委託し、地域全体での水質改善に取り組んでいる。毎年大学より調査結果報告会を開催している。</p> <p>H19からの取り組みにより、徐々に水質が改善されている。(大学からの報告書による)今年6月初めの調査では、ホタルが舞っているところを確認。今後は、地区内の水路を生態系(ホタル)水路として整備を行うこととしている。</p>
2	<p>本荘子吉環境保全活動組織 会計 菅原 正明</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部との混住化が著しい地域 ・構成員に学識経験者が豊富 ・子吉小学校、本荘東中学校との学校教育との連携。 <p>子吉小 環境教育を開催(5、6年生対象) 5年生・・・生き物環境教室を開催 6年生・・・課外授業(水源地探訪)などを中心として活動。 本荘東中 3年生による田んぼアートの活動についてサポート。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食・農への関心 ・地域コミュニケーションの活発化 ・教育関係者との巡り合わせ 	<p>本荘東中学校では、田んぼアートに毎年取り組んでおり、農業体験を通じて食の関心を持ってもらいたいと考え、活動組織で円滑に活動ができるようサポートしている。毎年取り組んだ結果、地域内での親と親同士の会話や親子のコミュニケーション。地域との対話が進み、地域の安全安心な街づくりに貢献。</p> <p>小中学校との連携により、地域内での登下校の挨拶や住民とのコミュニケーション、福祉施設への社会的貢献(中学生から福祉施設の方々へ藁細工を配布)が図られている。</p> <p>構成員に教員退職者や近隣高校教師との出会い・共に活動することにより、一歩踏み込んだ学校との連携が図れている。本組織は、現在協定区域外の学校を含め3校で活動をしている。 生徒たちからお礼の手紙をもらったり、親子、親同士の会話が増えてきているのを実感。</p>
3	<p>横手地域推進協議会 秋田県南旭川水系土改区 照井 元</p>  <p>【施設補修状況】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横手地域推進協議会 横手地域約2,500ha10地区の資源保全隊で構成する統轄機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、横手地域推進協議会が主催し、10地区資源保全隊による施設の補修技術の研修会を開催。 ・非農家を含めた広報活動 	<p>コンパクトゲートの塗装研修や目地詰め施工方法の研修を通じて、組織構成員の技術力向上を図っている。特殊なことをするのではなく、みんなが同じことが出来るよう努めている。</p> <p>年3回程度、推進協議会を開催している。1組織当たり役員5、6人参加してもらい、最新の土地改良情報提供をその都度行っている。末端の構成員まで情報が伝わるよう工夫している。</p> <p>農地・水向上活動結果等については、広報を発行。(約4000部)2800人の受益者のみならず、非農家の方々にも配布している(約1000部)。</p>

事例NO. 1

題名

水質改善でほとると共に

組織名	大曲ほとるとの会	
実施場所	秋田県山本郡三種町	
事業概要	協定面積	111.2ha
	活動概要	遊休農地等の発生状況の把握、施設の点検、施設周辺の草刈、水路の泥上げ 農道の砂利補充・不陸整正、 開水路の補修、ゲート類の保守管理の徹底 放流・植栽を通じた在来生物の育成、水田からの排水(濁水)管理、 循環かんがいの実施、水質モニタリングの実施、施設への植栽、定期的な巡回・清掃
特化した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの開催 土地改良区で主体となって開催するワークショップを開催し、地域住民による実際の代掻き水の排水状況確認や生態系調査を行ったところ、みんなの声でほとるとの棲める環境づくりに取り組むこととした。 ・県立大学への水質調査を委託 三種町7組織でなる鵜川地区協議会を設立し、一体となって排水対策に取り組み、地元の県立大学に水質調査を委託し、地域全体での水質改善に取り組んでいる。毎年大学より調査結果報告会を開催している。 ・ほとるとの生息 H19からの取り組みにより、徐々に水質が改善されている。(大学からの報告書による)今年6月初めの調査では、ほとるとが舞っているところを確認。今後は、地区内の水路を生態系(ほとると)水路として整備を行うこととしている。 	

図面、写真、説明



【県大水質調査結果報告会】



【ワークショップ状況】

事例NO. 2

題名

子吉小学校、本荘東中学校を取り込んでの活動報告

組織名	本荘子吉環境保全活動組織
実施場所	由利本荘市薬師堂一円
事業概要	協定面積 431.07ha
	活動概要 <p>本地域は、都市近郊の水田地帯であるが、高齢化・混住化により農業資源や農村環境を適切に保全管理することが難しくなっている。</p> <p>共同活動の現状は草刈・水路の泥上げ及び農道の敷き砂利を行っている。また、本地域の用水源でもあるため池7カ所について、2年おきに底樋の清掃を行い、外来魚（ブラックバス等）駆除も実施し、生態系の保全及び環境整備に努めている。</p> <p>本地域には、東中学校・子吉小学校があり、農業・食育・生態系保全について一緒に関わりを持って維持・環境保全活動を進めて行くこととしている。また本荘子吉地域内の町内会や老人クラブの参画、さらには小中学生の参加についても推進している。</p>
特化した活動内容	<p>東中学校の生徒には、農業体験を通して、生命の根源である、食に関心を持って頂きたいとの考えから、この活動が出発しています。また、子吉小学校生には、環境学習ということで、生き物調査や水源探訪などの興味をもってもらえるような取組を行っています。</p> <p>東中学校は平成17年に開校して間もないため、本組織の住民は、地域の学校として応援し、生徒の成長に関わりたいとの考えから学校との連携を図っているところであります。</p> <p>ここの特徴は、生徒会及び生徒たちが主体的に活動し、アートの図柄、思いを形にし、3年生全員で田植えを行っています。この子供達の素晴らしい活動を地域内外に農地・水の広報活動を通じて発信しています。</p>

図面、写真、説明



【田んぼアート】



【田んぼアート稲刈り状況】



【子吉小学校水源地探訪】



【子吉小学校水源地探訪】

事例NO. 3

題名

農村地域を支える施設補修

組織名	横手地域推進協議会 (横手南部地区・横手北部地区・栄地区・旭地区・ 境町南部地区・境町北部地区・黒川地区・百万刈地区 杉沢地区・金沢地区資源保全隊)
実施場所	横手市(旧横手市内全域)
事業概要	協定面積 2703.2ha (横手南部393.4ha・横手北部199.8ha・栄253.7ha・旭304.0ha・ 境町南部252.9ha・境町北部383.9ha・黒川347.9ha・百万刈86.0ha・ 杉沢220.3ha・金沢271.4ha)
	活動概要 現在の農村地域は、過疎化・混住化・少子高齢化の影響もあり農用地は荒地が目立ち、開水路の施設は年々老朽化し、ため池や農道にはゴミが捨てられるなど年々地域は衰退傾向にありました。そんな中、平成19年度よりスタートした本事業により美化活動(ゴミ拾い・花の植栽)を始め、各施設の補修や維持管理活動に地域ぐるみで取り組むことにより共同活動に参加された方々のコミュニケーションも生まれ、人と人との輪が広がりをみせ始め豊かな地域を取り戻そうとしています。
特化した活動内容	基礎部分・誘導部分(農村環境向上活動)はもとより、現在は誘導部分(農地・水向上活動)に活動組織では力を入れています。 ・特に力を入れている活動(農地・水向上活動)としては… 農用地)・・・畦畔の再築立 開水路)・・・目地詰め、側壁の裏込め材の充填・溝畔の補強、法面の初期補修、破損施設の改修、ゲート類等の保守管理の徹底 パイプライン)・・・破損施設の改修、通水試験の実施、パイプ内の清掃 ため池)・・・破損施設の改修、ゲート類等の保守管理の徹底、水抜きによる点検・補修 農道)・・・側溝の目地詰め、路肩・法面の初期補修、破損施設の改修 ・毎年、横手地域推進協議会が主催し10地区資源保全隊による施設の補修技術の研修会を開催しております。

図面、写真、説明

平成23年2月26日
高砂市農地・水・環境保全研修会

農村地域を支える施設補修



横手地域推進協議会(10地区資源保全隊)



横手地域推進協議会の推進体制

横手地域推進協議会

(横手市面積約1,300ha(14,138〜272,038ha(2地区)として)
10地区の資源保全隊で構成される組織体制)



正副代表・会計責任者会議

本地区資源保全隊の代表・副代表・会計等で構成される。事業推進の円滑化を図るべく、各地区の活動内容・経費・説明書等について調整するために設置した機関

〜グランドカバープランツ研修会〜

平成20年7月2日(農務局、10地区)



〜コンバゲーター農業研修会〜

平成22年10月2日(研修会のため、役員等出席で実施)



図面、写真、説明

～ 観水路の自然観の研修会～

平成20年10月12日(現地)



農地・水向上活動「各施設の補修活動」

精華町地区資源保全会
高島郡豊田町の元橋年秋(平成22年11月12日実施)



農地・水向上活動「各施設の補修活動」

北地区資源保全会
野人橋地区施設の修繕活動(平成22年6月20日実施)



農地・水向上活動「各施設の補修活動」

樋町南地区資源保全会
清水町南地区の施設活動(平成22年10月20日実施)



農地・水向上活動「各施設の補修活動」

境町北野地区資源保全会
境町北野地区の修繕活動(平成22年4月22日実施)



農地・水向上活動「各施設の補修活動」

田万地区資源保全会
田万地区の修繕活動(平成22年11月10日実施)



農地・水向上活動「各施設の補修活動」

北地区資源保全会
水原地区の修繕活動(平成22年11月)～(仮実施)



～最後に(まとめ)～

農地・水・環境保全向上政策がスタートし、
初めての期間に4年の歳月が過ぎました。
4年間に比べ農地整備の進捗、今年従来の修
繕活動の進捗は、**人々とのつながり**
を築きあげようとしています。

私達が農地を維持するため、人と人とのつながり
は欠かせない活動の柱になりました。
各共同活動を今後も続き、みんなで
美しい秋田を守って行きましょう。

